

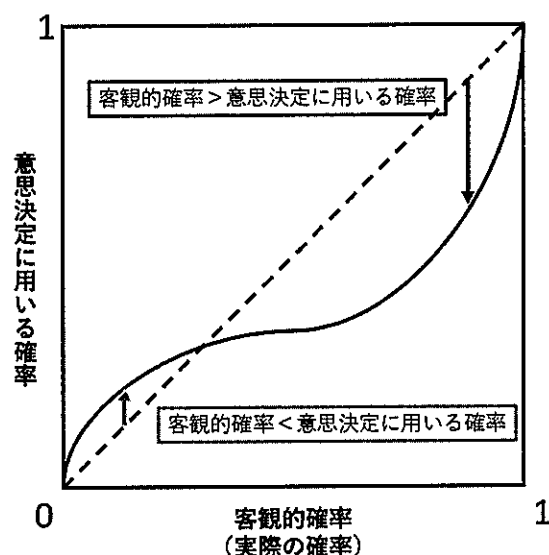
問題用紙

問 1 以下の文章をよく読み、設問に答えなさい。

著作権の都合上、省略。

問 2 以下の文章を読み、図をよく見て以下の設問1) 2) に答えなさい。

経済学の1つに、合理的でない人間の考え方の「クセ」を学ぶ行動経済学がある。行動経済学におけるプロスペクト理論の一つに「確実性効果」があり、下図のように、実際の確率である客観的確率が高い場合には、その確率を過小評価して意思決定する一方で、客観的確率が低い場合には、その確率を過大評価して意思決定すると言われている。この「確実性効果」の存在を前提として設問に答えなさい。



1) 以下の (A) (B) のうち、多くの人が選ぶ可能性が高いのはどちらか。(A) (B) から1つを選び、その理由を「期待値」という言葉を使って200字以内で説明しなさい。

- (A) 「確率80%で4万円もらえます」
- (B) 「確率100%で3万円もらえます」

2) - 1

以下の (A) (B) 2つの説明について、共通点と相違点を150字以内で説明しなさい。

- (A) 「この予防接種の副反応が起こる確率は1%です」
- (B) 「100人中99人にはこの予防接種の副反応が発生しません」

2) - 2

上記の (A) (B) どちらの説明をした方が予防接種を受ける人が多くなるか。(A) (B) から1つを選び、その理由を150字以内で説明しなさい。

注) なお、自分自身が選ぶものとその理由を説明する問題ではないので注意すること。